

令和5年度都立福生高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・2学年の生徒全員による短歌作成 ・本の紹介ポップ作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外の短歌コンテストへの参加 ・小論文模試の実施
地歴公民	社会的な見方・考え方を働かせた活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を読み取り様々な情報を適切かつ効果的にまとめる課題の実施 ・社会的な課題の解決に向け構想したり、説明・議論する力の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な課題に対するディベートの実施 ・「シネフィルバトル」の実施
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	学びに向かう力の育成	実験で仮説検証を行い、思考力と表現力を育成する。	Teams等を活用し、自ら学びに向かう環境を整備する。
芸術	アウトプットの機会の充実	生徒の作品を展示、発表する機会を設けることで、自己表現の場、科目を超えたより幅広い視野の育成の場を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・校内展示 ・校内発表 ・Classiコンテンツボックスなどを活用したクラウド上での作品発表・共有
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施 ・ICTを活用し家庭学習を促進。(TEAMS音読機能) ・ゲーミフィケーションによる授業参加意欲の促進 ・妥当性、信頼性を備えたルーブリックの改善。ウオッシュバック効果をもたらす試験の開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横田ハイスクールとの交流の促進による英語学習意欲の促進 ・オンライン英会話実施 ・TGGでの体験学習 ・ブリティッシュヒルズでの英語研修
家庭	ライフステージに応じた生活知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの段階について理解する ・ライフステージごとの衣食住の知識や発達課題を学ぶ 	実習を通して体験的に理解する
情報	情報科学分野の理解と問題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ①情報理論 ②プログラミング ③情報デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ①発展問題の演習 ②プログラミングでシステム開発 ③専門ソフトを活用したデザイン画制作